

品質と安全で差別化戦略、 危険を予知し、過去の事例に学ぶ

地場の優良建設会社で品質とともに労働安全衛生に力を入れ、差別化に成功しているのが丹下建設工業である。技能を持った職長を育てることで、安全や進捗管理がスムーズになり、企業リスクも低減する効果が生まれた。

丹下建設工業株式会社・愛媛県

現場で働く作業員の災害ゼロを目指す

丹下建設工業株式会社の安全衛生教育の最大のイベントは安全衛生大会である。同大会は2月と6月の年2回開催される。全社員が参加し、協力会社も参加する。平成24年度の同社の安全衛生方針はヒヤリハットの低減だが、全員からどのようなヒヤリハットの経験があったかを聞き出し、ヒヤリハットをなくす方法を話し合う。協力会社からの参加者も自社の安全衛生の取り組みの発表を行い、労働安全衛生コンサルタントを講師として招き、講話を受ける。また、毎月第1月曜日には安全衛生委員会が、毎月25日には安全親和会が開かれる。全員を対象に安全親和会を開くのは、現場に出るため事故のリスクが高い作業員に対し、安全衛生に関して徹底的な指導を行うためである。

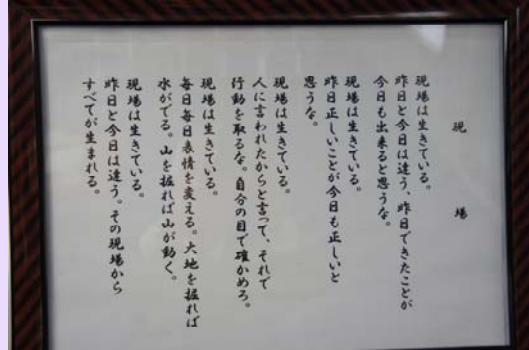
このように、作業の安全に関しては万全を期しているが、安全衛生のマンネリ化を防ぐために、外部講師に交通安全を含めて講話を依頼している。労働安全衛生については、ゼネコンから講師を依頼し、また、同社では建設機械やトラックなどの車両も多いので、警察に交通安全の講師の出講を依頼したりしている。

同社は安全衛生に関しては外部教育機関を利用していないが、労働安全衛生マネジメントシステム導入の際に指導を受けた労働安全衛生コンサルタントから安全衛生面に関しては指導を仰いでいる。

アルコール検知器で毎朝、送り出しの前に点検を行う。



現場は日々変化し、同じ現場は一つとしてないことを教えている。



毎朝、円陣を組み、気合いを入れて無事故を誓う。



労働安全衛生マネジメントシステムの文書類



事業特性から覚えるべきことが多い職長

同社に作業員として入社した人は、10年ほどで職長となる。まずは職長の教育を受けてもらい、安全の管理を修得し、次に建築や土木の施工管理技士などの国家資格を取得してもらって、工事責任者となってもらおうようにしている。職長は教育を受ければ誰でもなることができるが、それだけでは現場で指揮をとることはできない。よき職長となるには経験が必要である。工事の監督だけでなく、材料の手配、打合せ、元方との調整などがあるからである。職長の資格を持つことと、実際に指揮できることとは別である。

同社の営業内容は、土木や建築、とび・土工・コンクリート工事など幅広い。このため、掘削や土留め、盛り土、コンクリート打ち、足場など、工事についてのさまざまな知識が求められる。職別の専門工事会社と異なり、職長が覚えなければならない職務が多いことは同社の事業の特性からくるものである。

毎朝、危険予知と対策のイメージトレーニングを実施

同社は労働安全衛生マネジメントシステムを導入しており、危険予知のためにヒヤリハット運動を行っているが、過去の事故に学ぶことも災害を防ぐ重要な手段と考えている。同システムの過去のデータを基に、どのようにして類似の事故を防ぐかということに重点を置いている。過去の事例を学ぶことで安全の意識を高めるのである。接触などの軽い交通事故が起きた場合でも、警察の調書作成で終わらせることなく、本人に事故の場면을説明させ、類似の事故が起きないように安全意識を喚起するようにしている。

効果をあげているのは、毎朝の送り出し教育である。これは工事現場に向かう前に、各人が当日赴く現場での作業内容や、建設機械類に乗るなどの場合は免許の携帯の有無などを記入する。また、前日に経験したヒヤリハットを記入し、それをどのように防ぐかについても記入する。こうして安全行動をあらかじめイメージすることができるようになる。

さらに、現場に赴く前に、各工事の代表者を指名して、当日の主だった作業の内容を報告させ、作業に伴う危険性について述べさせる。その際は、「足下確認」などのような抽象的な内容では通らない。安全靴を履き、滑らないように第一歩を踏み出す、など、具体的な内容での報告でなければ、合格しない。

スーパー職長は宝物、若手の育成に腐心

同社が目指す職長の姿は、公の機関から認められるような優秀な職長となるよう、育成することである。そのために、さまざまな経験を積むように各工事に送り込むようにしている。同社には50人弱の作業員がいるが、このうち7、8人は発注者や元方からこの人なら仕事をまわすといわれるようなエース級のスーパー職長である。これは本人にとって誉れだが、会社にとっても宝物である。その人がいるおかげで、5,000万円、6,000万円の仕事が受注できるからである。

同社は60歳定年だが、やる気があれば65歳まで職長として活躍できるし、欠かせない存在である。50歳台後半から60歳台の職長や作業員がいなければ工事はきれいに仕上がらない。工事最終局面の駄目工事などではこうした年代の作業が欠かせないからである。

60歳台はまだ元気で、高い能力を持っている。悩みは55歳以上になると工事現場に入りにくくなることである。高所作業などがある現場などでは社内規則などで入場を制限しているところがある。しかし、大手建設会社の作業所長が若年化するなか、経験が豊富な職長が現場に立てないことで、若い作業員が危険にさらされるおそれもある。

このように職長は重要な監督職であるが、このところ、若い人は職長になりたがらないという悩みもある。工事の責任をとらなければならない、などの立場にあるためである。同社では若手を優秀な職長のもとにつけて育成を図っている。

安全衛生大会で話し合われるヒヤリハットの例

番号	ヒヤリハット事例	被災の可能性	怪我の大きさ	評価値	危険度レベル
1	重機をバックする時、後方に作業員がいた。	a	I	16	A
2	ブルでバックしようとした時に後ろに人がいた。	a	I	16	A
3	夜、車でバックしようとして後ろに人が入るのに気付くのが遅れ、当たる前に気付いて、怖いと思った。	a	I	16	A
4	足場ができる前に、コンクリート擁壁取壊し部の上を歩いた時。	b	I	15	A
5	カルバートBOXの足場上から鉄筋が落下して目の前に落ちる。	a	II	14	A
6	吊荷が作業員の上を通った	b	II	13	B
7	ワイヤーモッコにコンクリートガラをBHで積込したが、吊上げた時に、落ちそうなガラがあった。	b	II	13	B
8	通勤中、後方確認をせずに、自転車が車道を横切ってきて、跳ねそうになった。	b	II	13	B
9	追越禁止の車線でスピード超過の車に抜かれ、その車と、対向車が衝突しそうになる所を目撃してヒヤッとした。	b	II	13	B
10	掘削作業中(手廻り)法面が崩れ、足元が土砂に埋まった。	b	II	13	B
11	ダンブで狭い道路を走行中、横から自転車が飛び出して来たとき、危ないと思った。	b	II	13	B
12	れコニックで、ブームをいっぱい伸ばして短管を吊上げようとした時、車の荷台が浮き上がった。	b	II	13	B

毎日送り出し教育の様式

氏名 _____ 毎日送り出し教育・ヒヤリハット 制定 1999.11.11
改定 2008.04.13

記載日 平成 年 月 日 曜日	発注者又は注文者		
作業日 平成 年 月 日 曜日	現場名		
衛生管理	本日の体調は、良 普 悪 睡眠は、よく寝た 普通 余り寝れなかった。		
体調が悪い・寝れないと答えた社員の方へ、どこが悪いのですか？			改善しない場合は、当社の産業医に必ず診察に行ってください。
今日行く現場の現場責任者は誰ですか？(利昭は、不可)			
あなたが今日する作業を記入してください。			
あなたは本日機械に乗りますか？	乗る・乗らない。	携帯していないと答えた方は、本日は機械に乗ることを禁止します。	
乗る場合その資格・免許を本日携帯していますか？	有・無	事業主	
あなたが本日直接行う作業で、安全衛生法で求められている資格は何が必要ですか？			
あなたが持っていない資格を今日はだれがその現場で持っていますか？名前を書いてください。			
保護具の確認	虎チョッキ 有・無	アイマスク 有・無	防塵マスク 有・無
保護具がない方は、申し出ること。			
昨日の、ヒヤリ・ハットを記載してください。この記載がないと会社は認めません。欠勤とします。			
昨日の作業での危険度チェック	非常に危険であった。	普通	危険と感じなかった。
本日の作業における危険度	非常に危険と感じる。	普通	あまり危険と感じない。
今日危険と感じる所			
それをあなたはどのように防ぎますか？			
現場責任者と協議してください。			
本日クレーン作業はありますか？	ある・ない	合図者は誰ですか？	
本日BHと作業員が併用する作業はありますか？	ある・ない	誘導員は誰ですか？	
本日危険箇所はありますか？	ある・ない	見張員は誰ですか？	